

会長	副会長	事務局長	事務局員

## 平成24年度第2回平川市地域公共交通協議会会議録

開催日時	平成24年10月25日（木） 午後2時00分～午後3時00分
開催場所	平川市役所本庁舎3階 応接室
案件	<p>1) 新屋・尾崎直行便及び新屋尾崎線の運行について</p> <p>2) 杉館・松崎線及び岩館・大坊線の運行協議について</p> <p>3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杉館・松崎線及び岩館大坊線の祝日運休について</li> <li>・11月号広報ひらかわ掲載（案）について</li> </ul>
出席者	<p><b>【出席者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐藤順一会長</li> <li>・今井 卓委員</li> <li>・木村 忠委員</li> <li>・木村雅彦委員</li> <li>・下山敏則委員</li> <li>・福地 順委員</li> <li>・大橋忠宏委員</li> <li>・葛西幸夫委員</li> <li>・福田寛委員代理</li> <li>・田中和男委員</li> <li>・佐藤成子委員</li> <li>・白戸一好委員</li> <li>・中田博光委員</li> </ul> <p>出席者13名</p> <p><b>【欠席者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊嶋 修委員</li> <li>・成田修治委員</li> <li>・古川敏夫委員</li> </ul> <p>欠席者3名</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>事務局長：鳴海和正 事務局：對馬謙二、山田一敏、清藤裕太</p>
事務局長	<p>時間より若干早いのですが全員揃いましたので、ただいまより平成24年度第2回平川市地域公共交通協議会を開催いたします。それではまず、欠席者について報告いたします。本日は、社団法人青森県バス協会の豊嶋委員、それから青森県交通運輸産業労働組合協議会の成田委員、そしてまた平川市商工会の古川敏夫委員が欠席となっております。</p> <p>なお、黒石警察署福田委員の代理といたしまして交通課奈良主任が代理出席となっております。</p> <p>出席委員は16名中13名となっておりますので会議は成立いたします。</p> <p>それでは、議事会開催に先立ちまして佐藤会長よりごあいさつをお願いします。</p>
佐藤会長	<p>どうも皆さんこんにちは。</p> <p>あの猛暑がどこへやらと懐かしくなりましたが、今朝は霜も降りたりして非常に公私ともにご多用のところご出席下さいまして誠にありがとうございます。</p> <p>去る5月の31日でしたか、23年度の事業報告並びに決算報告それから新屋尾崎直行便並びに循環バス新屋尾崎線の運行内容の変更について協議されたころであります。</p> <p>本日は新屋尾崎直行便及び循環バス新屋尾崎線の運行内容の確認と、杉館松崎線及び岩館大坊線の日曜運休とした実証運行の経過報告、それに加えて継続運行の協議等についてこれから協議をしたいと思っております。どうぞご審議の程よろしくお願ひ申し上げまして、一言挨拶に代えたいと思ひます。</p>

事務局長	<p>続きまして、この後の議事進行につきましては会長の方によろしくお願いいたします。</p>
佐藤会長	<p>それでは、案件1 新屋尾崎直行便並びに新屋尾崎線の運行内容について、事務局の方から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局の清藤です。座ったまま説明させていただきます。</p> <p>まず、新屋尾崎直行便の運行内容について説明いたします。</p> <p>お手元の資料の2ページをご覧ください。前回5月末に行われました第1回の協議会で協議された結果がこのとおりとなっております。</p> <p>運行期間は前年度とほぼ同じく12月3日の月曜日から3月22日の金曜日までとしまして、平日運行のみとなっております。また、冬休み期間も前年度と同じく12月22日～1月14日までを運休としております。</p> <p>乗車料金につきましては、前年度まで100円だったものを200円へと変更しました。理由といたしましては採算性の向上を図ることと、他の便との料金を統一することを目的としています。</p> <p>運行本数ですが、朝7時10分発の1日1本の運行としまして、夕方17時50分発と19時50分発の2便は収支率の向上を図ることなどから、利用率の低かったこの2便を廃止することとしています。</p> <p>下の方には路線の概略図を載せてありますので、参考までに見ていただければと思います。</p> <p>続きまして、循環バス新屋・尾崎線の運行内容について説明いたします。</p> <p>次のページ、3ページをご覧ください。</p> <p>先ほどの新屋尾崎直行便の運行内容変更によって、直行便の夕方の便が廃止されたことから、直行便利用者の帰りの人達の乗車を救うことを目的としまして、循環バス新屋尾崎線の最終便の時刻を延長するというので、前回の協議会において協議されました。</p> <p>後日、弘南鉄道様に聞いたところ、学生の電車利用者の時間帯は16時43分平賀駅着と17時13分着が主に多いとのことでしたので、時刻の延長を17時と17時20分発の二通りのパターンを作成しております。当初、弘南バス様からは17時までが延長の限界とのことでしたが、特別のご配慮で17時20分までの延長もしていただけることとなりました。16時43分着の電車ですと、学校から急いで電車に乗らないと間に合わない可能性もありますので、どちらかという17時20分に設定した方が学生としては利用しやすいのではないかなと考えております。</p> <p>ただ前便が13時50分となっていて、多少前便から時間が空いてしまうので、どちらの時刻でいくかはこの場において協議して決めたいと思っております。</p> <p>なお、運行内容変更は新屋尾崎直行便の運行に合わせて、12月1日からとする予定です。以上です。</p>
佐藤会長	<p>ただいま事務局の方から案件1についてご説明がありましたけれども、直行便と循環バスの双方についての現状とそれから変更等についてご説明がありました、この説明についてなにかご質問がありましたらお願いしたいと思います。</p>

	<p>直行便の運行についてはあれでしょうけれども、その次の循環バスの後半に説明がありました、最終バスの16時20分をなくする、その代わりに17時かないしは17時20分、これを特別弘南バスの方をお願いをして案として組んだんですけど、これらも含めてご質問ありましたらお願いいたします。</p> <p>17時よりも17時20分の方がいいのではという事務局の案でしたけれども、ただその間ちょっと待つ時間がありますので、どっちもどっちという感じですけども、皆さんのご意見を聞きながらいずれかに最終のバスの時間帯を決定したいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
下山委員	今バスの方の今現在の16時20分の時間帯はだいたいどれくらい乗っているか把握していれば教えてください。
事務局	今資料を確認しますので、ちょっとお待ちください。
佐藤会長	その間他にご質問あればお願いいたします。
大橋委員	<p>今のものに関連して情報がちょっと全然分からないので。</p> <p>新屋尾崎直行便で、夕方の便を廃止しますよね。それでちょっと忘れていた部分があるのでさっきのと合わせて教えていただきたいのですが、11時50分発、13時50分発って今まで何人ぐらい乗っていたのかということを知っていただきたいんですけど、そのうち例えばだいたい時間があるので、待てる人と待てない人っていると思うんですけど、今の説明ですとバス会社の都合とかは分かるんですけど、実際の利用者がどう考えているかということについては、何かヒアリングなり何か行われたのか情報があれば教えてください。</p>
事務局	<p>ヒアリングについては、今のところ実際行っていない状況です。</p> <p>利用者なんですけど、今年の4～9月の利用者なんですけど、13時50分発が大体毎月70～80人程度の利用があります。16時20分発も大体月に70～80人程度の利用があります。11時50分や8時20分発の平均の利用者数は毎月120～130人ですので、それに比べると午後の便については利用が少ない状況です。</p>
大橋委員	もう1点だけ教えてください。今バスの利用は分かったんですけど、基本的な弘南鉄道、弘南線との接続を考えての設定になると思うんですけど、弘南線の平賀駅の乗降客数の分布って、この16時20分ぐらいの周辺の利用者の分布と、17時前後のその分布はそれほど変わらないのでしょうか。それとも後の方が多いのか、前の方が多いのか分かれば。だいたい何割位が乗降客からバスを利用しているのか分かれば判断しやすいのかなと。
事務局	すみません、駅から直接バスに乗っている人の乗降客数の調査は今のところ行っていないので、把握はしていません。
事務局長	すみません、下山委員にちょっと教えて欲しいんですけど、16時43分着と17時13分着の電車では学生さんはどっちが多く乗っているのかっていうのは分かりますでしょうか。

下山委員	<p>平賀駅に降りるので全体的に多いのは、16時30分の電車の方が多いですね。17時の方は若干落ちますけど、16時30分が一番多いですかね。その前の16時っていうのもありますけど、現状で行くと16時30分が多いですね。</p> <p>あとそれから冬になると農家の方も仕事がないということで、駅に迎えに来る車もかなりあります。駅で待っている車もかなり台数がだんだん増えてくると思うので、その辺のところもバスの利用者が少なくなるのか、その辺把握出来ないだろうけども、そういう感じもありますね。</p>
佐藤会長	<p>それぞれ従来どおりの運行がなくなる代わりに、17時か17時20分という変更の事務局案ですけど、冬期間に入るとそういったことも十分に考えた方がいいんじゃないかというのが、下山委員の意見でありました。</p> <p>高校生の部活あたりはやっぱり17時以降の方が多く乗っていることは多く乗っているんじゃないかなと思いますけど、バスとは直接比例はしないでしょうけど、人数そのものおそらく。</p>
下山委員	部活の場合、高校生はもっと時間が遅いです。20時30分とかですね。
佐藤会長	それはほとんど家の人が迎えに来ているんでしょうね。
下山委員	<p>迎えに来るのもあるし、部活の方でも業者の方使ってますね、駅まで迎えに来るとか。バスがなければほとんど迎えに来る人ばかりです。</p> <p>何年か前にダイヤの削減で20時30分の電車を削減したことあったんですけど、ちょうど部活の人達が帰って来るといって、その電車がなくて待ってなきゃいけないとかいろいろ話が来まして、また20時30分の電車を復活させたっていう経緯もありますので。結構部活の人は20時30分以降に乗っているのかなと思いますね。</p>
佐藤会長	大体、部活始まるとなると午後の3時頃からでしょうからね。
下山委員	<p>夏場と冬場とはちょっとまた変わってきますので、夏場の方は日が長いということで、グラウンドで練習出来るということで21時、21時30分以降もあるんですけど。冬場だと20時30分、21時に集中するというような形です。</p> <p>で、この運行時間もそれを考えると17時の方がいいのかなというような感じもするんですけど。16時で来ても16時30分で来ても17時のバスには乗せて行けるので、17時の方がいいかなと今考えてみたんですけど。</p>
大橋委員	<p>あともう1つ確認させて下さい。</p> <p>尾崎とかこの辺りっていうのは事業所ってあるんでしょうか。</p>
事務局	ほとんどないですね。
大橋委員	ほとんどないということは、駅からバスに乗ることを考えるのであれば、今の話を聞いていると17時の方が良さそうだって話なんですけど、要は帰り、平賀の駅まで戻る時にお客さんが見込めるか見込めないかで、もし事業所があるのであれば多少遅い方がいいのかもしれませんが、そういう見込みがないのであれば、駅から尾

	崎方面に行く人達のことだけ考えればいいのかなど思いましたので。ないんですね。
事務局	農業集落ですので、ほとんどないですね。
佐藤会長	今16時20分を廃止して、17時か17時20分のどちらでいくか審議をお願いしているわけですが、実施が12月1日から運行するわけですが、どちらにした方がいいでしょうか。
下山委員	なかなかこの場所では決められないと思うんですけど、もしこの場で決められなければ、会社の方で1週間くらいでも16時30分と17時のこの辺の乗降を調べてこちらの方でお知らせして、それを見ながら決めれば遅くなるのかなと、ふと思いついたんですけど。夏場と冬場ではまた乗降も違いますので、来週あたりでも乗降を調べて見てから判断したらどうなのかなという風には頭に浮かんだんですけど。 その辺の結果を事務局の方にお知らせして、そこで決めていただけるのであればならそれもどうかと。なかなかこの場でというのも難しいと思いますので。
佐藤会長	机上の考えじゃなくして、実数をもう少し弘南鉄道さんの方に時間を貸してもらえたらという風なご意見もありますけど。 どうですか、事務局の方でどのくらいか待てるんでしょうか。
事務局	実は市の11月の広報にこの内容を掲載しようと思っていて。広報の編集委員会が11月上旬ですので、ギリギリ大丈夫ですね。
佐藤会長	変更の件について11月の広報紙に掲載したいということで、原稿のリミットもありますので、今の下山委員のお話を踏まえてですね、1週間くらいはいいんじゃないかと思いますが。いずれにしても下山委員のご意見もありますけれどもその結局の決定のところは17時にするかそれとも17時20分に変更するかそのいずれかのところで協議しているわけですので、下山委員のご意見を尊重しながら17時に落ち着くのか、16時20分というこれは取りやめということになっているのでしょうから、そのところ弘南鉄道の方の人数とそれから生徒の代表あたりの意見を聞く機会を下山委員にお願いをして、司会が特段に不慣れですけど、何か17時の方が良いような気がしますけど、事務局の方でもう少し何かありますか。
事務局	ちなみにですね、5月に会議やった時の資料の中に、直行便の23年度の12月から3月までの実績が載せてあるんですけど、その時の平賀駅17時50分発の実績がですね、12月1カ月間で大人が10人、学生が22人、これ30日でこれくらい乗っています。1月でいけば大人が3人、学生が21人、それと2月でいけば大人が7人、学生42人、3月でいけば大人が3人、学生が17人ということの実績は乗せてありますので、ほとんど大人の人に乗らないのかなという感じがあります。以上です。
佐藤会長	学生の人数の移管、人数のことを考えてどちらかというところで審議をした方がベターではないかという風な事務局のことでございます。
大橋委員	そうすると、1日にならずと1日1人か2人しか乗ってないということですね。
事務局長	要するにですね、16時20分を利用されている方が月に70～80人いらっしゃ

	<p>やると、この方は大人な方なわけですよ。そうしますと、これを40分ずらして、17時にずらすと、そうすると今度大人の方が不便を感じる方もいらっしゃる。学生の方は乗る方もいる方もいるかもわかりませんが、大人の方が今度乗らなくなるという恐れもありますので、その辺もちょっと加味されて協議していただければと思います。この辺どういう風な動きをするかというのも予測も難しいもんですからね。</p>
事務局	<p>それともう一つ補足なんですけど、この3ページの資料の上の変更前の最終の出発時間が平賀駅16時20分という風に今現在はそうなっているんですけど、昨年の直行バスでいけば、これは学生を対象にやっているんですけど、朝が7時10分、帰りが17時50分と19時50分の2本あったんですよ。それを晩の分をいらいないということで、循環バスの時間を後にして変更していくということになりましたので、17時50分と19時50分それがなくなって今の変更に合わせてという形になっていましたので、その辺も合わせてちょっとご検討いただきたいと思いますので。</p>
佐藤会長	<p>事務局の方からただいま説明がありましたとおり、取りやめする又は直行便との兼ね合い等で協議をした結果、こういう風にして今回案として変更案を提出した訳ですけれども、理由はただいま事務局の方の説明のとおりでございます。</p> <p>今回この場合、直行便はなくなった訳ですから、循環バスの帰りのことを決めれば良いわけですね。</p> <p>もう一度下山委員のご意見のとおり、実数並びに代表者の意見を聞いてということもありましたけれども、それにお任せするのか、それともまたこの会においていずれかをただいまの参考意見を中心にして決めた方がいいのか。</p> <p>そうするとどうですか、3つの案といいますか、私の方で下山さんの方にもう少し時間を1週間位みて、それで事務局の方にお話をしてその結果お任せするという一つの案。それからこの会の場において、17時にするか又は直行便の関連で17時20分にするのか、この3つの案をお考えになりながらご検討をお願いしたいと思います。</p> <p>それじゃあ、私の方から下山委員の方のご意見のとおり、実数をもう少し把握してその結果を事務局の方にお話していずれかに決めてもらうとの案、どうですか？それとも17時という風にして決めるか、それとも事務局の方で最初にお話した原案のとおり17時20分はいかがなものかいうのと、3つの案合わせて決めてもらいたいと思います。</p> <p>では第1番の下山委員にお任せするという人は手を挙げてもらえませんか。(3名挙手) それから、待つ時間等も考えて17時の方の変更がいいと思いますか。(挙手なし) それでは最後の17時20分が賛成という人は手を挙げてください。(5名挙手) こっちが若干多いようなんですけど。</p>
佐藤委員	<p>今の子供達って10分15分って待つのを嫌がるから、やっぱり電車が来てすぐ乗れる方がいいのかなと。</p>
佐藤会長	<p>人数からいくと、若干17時20分の方が多いようなあれですけど、いずれにし</p>

	<p>でもお話のアドバイスを伺いながらですね、この協議会では17時20分に変更するというようなことでよろしいでしょうか。</p> <p>ただし下山委員の方のデータが極端に我々の考えとマッチしないようでしたらまたあれでしょうけど、この会においては17時20分に変更ということで決したいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。</p> <p>それでは案件(2)杉館・松崎線及び岩館・大坊線の運行協議について事務局の方からご説明をお願ひしたいと思っております。</p>
事務局	<p>案件2 杉館・松崎線及び岩館・大坊線の運行協議について説明いたします。</p> <p>この2便につきましては、23年の12月1日から24年の11月30日までの期間、日曜運休として実証運行中ではありますが、9月末現在での経過をまず報告いたします。</p> <p>4～5ページが杉館・松崎線、6～7ページが岩館・大坊線の結果です。乗車結果については、22年度～24年度の途中までのものを載せてありまして、24年のキロあたりの運行単価はまだ確定しておりませんので、23年度と同額を使っております。</p> <p>日曜運休前と日曜運休にしてからの同時期の表を比較してみますと、杉館・松崎線では12～3月の比較で1日平均乗車数は11.1人から10.7人と減になっていますが、収支率は19.6%から23.6%へ増になっています。4月から9月間の比較では24年に入ってから乗車数が大きく減っているので、平均乗車数が7.9人から6.2人へ、収支率も16.3%から12.2%へと減になっています。運行費用を比べてみますと、日曜運休の効果で合計448,438円の節減になっています。</p> <p>続きまして岩館・大坊線の6～7Pを見て下さい。</p> <p>同様に岩館・大坊線の運休前後の12月から3月間の比較では、1日平均乗車数は18.7人から19.8人に増となっておりまして、収支率も29.8%から37.0%へと増加しております。4月から9月間の比較では、杉館・松崎線と同様に24年度からは乗車数が大幅に減っていますので、平均乗車数も13.4人から12.4人へ、収支率も24.7%から22.9%へ減になっています。運行費用の比較では、日曜運休の効果で合計514,524円の節減になっています。</p> <p>杉館・松崎線と合わせますと、962,962円の節減になっています。</p> <p>8～9Pには23年と24年の曜日別利用者数を添付してありますので、参考までに見ていただければと思います。日曜日につきましては、どの便を見ても利用者が非常に少ない状況が見て分かると思います。</p> <p>以上のとおり、この2便については今年度に入ってからますます乗車数が減っているような状況で、バスの運行を今後も継続的に運行していくには、これらの経費の節減は今後も必要であると思われるので、事務局案を先に申しますと、経費の節減を続ける為にも実証運行終了後もこのまま日曜運休を継続して運行した方がいいのではないかと考えております。以上です。</p>
佐藤会長	<p>ただいま案件2の杉館・松崎線並びに岩館・大坊線の運行状況について、日曜日運休とした場合の経費的な面、それから日曜日の人数の面等について事務局の方か</p>

	<p>らご説明がありましたけれども、ここでは杉館・松崎線、岩館・大坊線の日曜運休を継続するかまたは廃止するかということを皆様にお計りしたいと思います。事務局の方としては、日曜日の運休を引き続き今後も継続するという風な案でございます。いかがでしょうか。</p>
福地委員	<p>提案なんですけど、日曜日というのはどうして少ないかという病院が休みと、買い物については、サラリーマンの方はお休みで車があるわけです。買い物に行っても荷物を積めるということで、必然的に日曜日は利用が少なくなるということでありまして、この提案の中で日曜日の他に祝日年間15日ありますので、こちらの方もやっぱり運休させて、収支率を上げて節減していけばどうなものかなと私は思っていますので、是非とも日曜日だけでなく祝日の運休も検討していただきたいと思っています。</p>
佐藤会長	<p>ただいま福地委員の方からこのようなご意見がありますけど、これはどうでしょうか、事務局の方で今回の場合には日曜日だけの運休継続又は廃止だけですか。</p>
事務局	<p>実は今回のその他の中で祝日運休について提案したいなと思っております、資料の最後の方に祝日の利用者数ということ載せてありますので、その時にまた説明したいと思います。</p>
佐藤会長	<p>日曜日の運休の継続をというような案件ですので、祝日については後ほどの案件として組んでありますので、ご意見はごもっともですけれども、今は日曜日の運休についてご意見をお願いしたいと思います。</p>
大橋委員	<p>直接関係するわけではないんですけれども、さっきの案件もそうなんですけど、正直バスを前提としたサービス維持というのを前提されている様で、ただ今回の場合も説明の中では経費の節減という話が強く意識されていて提案されている様なんですけども、例えば杉館・松崎線の場合ですとこれくらいの人数で、まず1点教えていただきたいのは、平均すると1日あたり9.3人で時間帯でもそんなに変わらないということは、なんかイベントごとがあつて例えばものすごい需要が多かったり、少なかったりというよりはどっちかという平均して乗っているという理解でいいんですかね。もしそうであるならば、1便あたり3~4人くらいですよ。私の経験で言うと、弘前市で話をする時ですと、バスの単価と乗合タクシーみたいな単価と比較してどっちが安いだろうかということも含めて検討することが弘前市の場合だと多いんですけど、ここではバス前提で話をするというのは、バスの方がより費用としては安くあがるというそういう判断で提案されているという理解でよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>循環バスの中でも杉館・松崎線は特に利用が低いバスの1本でありまして、1人あたりを運送するにかかる市の負担額というのはこちらに載せているんですけど、大体千円を超えているような大きい額が数年以上続いている状態で、千円以上であればバスよりも他の運行手段の方がいいのではないかとの大橋先生の意見もあるんですけど、デマンドに関しましても…</p>
大橋委員	<p>デマンドじゃなくて、乗合タクシーとかの方が積算単価って安くなっていませんでしたかっていうことなんですけど。正直弘前でこれくらいの需要のレベルですと、</p>



	<p>バスの維持はどうしましょうっていう会議では出てくるので、ここではどういう風にお考えなのかということを知りたくて。経費節減って特に言われている様ですので、もう少しいろんな検討をされた方が長期的な視点としては。費用だけじゃないですけど、バスですと一番小さい車両でも20人位の大きさにはなりますよね。当然重量も大きくなりますから、ガスの排出量も増えるので、そういったことも含めていいのかなど。1回あたりはちょっとしたものかもしれませんが。</p> <p>まあそこは今とかという訳ではないですけど、素朴な感想としてそういう印象がありますという参考意見として聞いていただければと思います。</p>
佐藤会長	<p>ただいま、大橋先生のご意見もそういう風な発想も当然考えられるわけで、平川市の場合にはバスを中心として今までもずっと協議会を持ってきていますので、実際にはその経費の負担の為には、こういったタクシーだとかも考えて一人千円あたりの負担をそちらの方に回すという風なお考えもごもっともなアイデアだと思いますけれども、是非今回は一つバスの利用の促進というようなことでの対策協議会がありますので、どうぞ国の方の補助事業の一環でもありますので、その点をお考えになりながら参考意見として。</p>
大橋委員	<p>いや、そういう問題じゃなくて、公共交通の運行の仕方でもバスって車両を使って乗合サービスを提供するっていうものもありますし、ジャンボタクシーみたいなもので乗合サービスを提供するっていうものもありますので、今会長がおっしゃられてるタクシーという表現は電話してどこからどこまでみたいなそういうサービスを想定されているようなんですけど、そうではなくて同じ経路上を走るバス停も決めて時間も決めて、そういうものの中でバス車両より需要が小さいようですので、バス車両みたいな大きな車両を使うのか、ジャンボタクシーのような小さい車両を使って少しでも燃費を良くして費用も下がる訳ですから、そういったことを考えるのかということです。</p>
佐藤会長	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
事務局	<p>一つ事務局の方から。</p> <p>先ほど、弘南バスさんの方から祝日も廃止にすればというような意見も出ましたけれども、事務局の方では昨年8月10日と11日にそれぞれ杉館・松崎線と岩館・大坊線の住民懇談会も開催しております。その意見もちょうとお知らせ致します。</p> <p>杉館・松崎線につきましては、参加者が10人くらい出席しておりました。利用者からの意見としては病院へ行くために利用している方がほとんどでして、病院だけだから減らすのだったら土日は廃止してもいいと。だけでも全体の路線廃止だけはしないでくださいという意見がありました。それと岩館・大坊線なんですけど、参加者が12名。利用者からの意見としましては、減らすとしても土日は残して欲しい。土日に平賀に遊びに行くのでと、そういう意見もあったんですよ。杉館・松崎線とは反対なんですけど、減便になってもバスに時間帯は合わせると。ただ路線廃止だけはして欲しくないとのことでしたので、ある程度走っていればそれに時間帯は合わせてくれるということでしたので、ただ祝日の廃止までとなれば片一方は</p>

	それでもいい、片一方はしないでくださいとの意見もありましたので、参考的にお知らせします。
佐藤会長	<p>ありがとうございました。ずっと委員を継続している方は前の流れ、地区懇談会の空気などについて頭に刻んであると思いますけど、新委員になった方はそれぞれの経緯や地理的な事などもご心配のことと思いますけど、そういう風な過去においての地区懇談会での意見があったということをごまじ事務局長の方からお話がありました。</p> <p>さて、そういうことでこの杉館・松崎線並びに岩館・大坊線の日曜日の運休を継続運行するか、それともまた廃止をして前のところに戻すかお計りをしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
下山委員	12月から日曜運休をしている訳ですけど、その後住民から何か意見などあったものかと思ひまして。たとえば日曜バスがないので運行して下さいとか声が聞こえたものかと思ひまして。
事務局	日曜運休にしてから2月に住民懇談会を開催しております、日曜運休にしてから何か不便はありますかという風に聞いたのですが、その時は運行を維持するには大方やむを得ないという意見を頂きまして、一定の理解を示していると解釈しております。
佐藤会長	それは両方の地区ですか。
事務局	両方の地区です。
佐藤会長	<p>両地区とも日曜日運休した後の懇談会でそういう風な意見があったということでございます。日曜日運休については、原案どおり継続運休ということによろしいでしょうか。(異議なし)</p> <p>ありがとうございました。ではそのように決定したいと思います。</p> <p>では次に案件3について事務局の方から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>案件3のその他の第1点目についてですが、先ほど弘南バス様の方からも提案がありました、杉館・松崎線と岩館・大坊線の祝日運休について事務局の方からも一つ提案したいと思います。</p> <p>事務局の方でも祝日の運行について調べたところ、資料の10ページのとおり、23年度では14日と、24年度では8日祝日があったのですが、いずれも一日あたりの平均利用者数が大体半分以下という非常に利用が少ない状況でした。今の段階ではまだデータがまだ不足しておりますので、冬以降も出来れば調査を続けて、次回以降の協議会で協議したいなと思ひておりました。地区住民の方の意見も聞かないといけないなと思ひておりましたので、後日懇談会なり何か開催して意見を聞いてから協議したいなと思ひておりましたのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>次の最後なんですけど、広報ひらかわの11月号の掲載案を載せてあります。今日協議した内容を、載せてあるのが事前に作成した分ですので、時刻等変更ある点については事前に変更して載せたいなと思ひておりました。</p>
佐藤会長	ただいま事務局の方から案件3についてのご説明がございました。事務局の方の

ご説明で決定してよろしいでしょうか。(異議なし)

ありがとうございました。

本日の協議会の協議案件はこれで全て終了いたしました。皆様の方から様々ご意見いただきましてありがとうございました。なければこれを持ちまして第2回の平川市地域公共交通協議会を閉会したいと思っております。

なお、次回は25年の3月頃開催の予定でございます。本日は短い時間ではありましたが、非常に内容のある、しかもまたいろいろと参考になるご意見を頂きまして本当にありがとうございました。以上を持って今日の会議を終了したいと思います。ありがとうございました。

以上会議顛末を報告するものである。

(報告者氏名) 事務局員 清藤 裕太